



ナツマツリ



いきなり一人で  
浴衣は難しいからね。



ゴメンね、手間  
かけちゃって。

大丈夫、  
大丈夫。



はい、完成

べ、別にバカシンジ  
のためじゃないけどさ。

シンジ君、きつと  
褒めてくれるよ！



綾波……。



碓君、こんばんわ。



変じゃ  
……ない？

すごく似合ってるよ  
綾波！



碓君に……見て  
ほしくって……。

綾波……とっても  
素敵だと思うよ。

嬉しい……。

ねえ、待ってよ、  
アスカ!

どこまで行くんだよ!  
もう道外れてるよ!

うっさい! えこひいき  
のところに行きなさいよ!

ちよっと、なんだよ  
それは!

なんだよ、アスカ、  
なにそんなに怒ってる  
んだよ!

あ、アスカ?



ほんつとうに  
バカ!

バカシンジの  
バカ!

し、死ぬかとおもった……



アンタに見せようとわざわざ浴室買って着てきたのにさきにえこひいきにデレてんじゃないわよ!

で、でもアスカ達遅刻して……

口答えしてんじゃないわよ!

理不尽! いや、ごめんなさい!



アスカ……



アンタいつつもそうよ! みんなにいい顔して、えこひいきやメガネにもデレデレして!

シンジの方から私の事褒めたり、好きとか全然言ってくれないじゃない!

いつも私からじゃない! もっと褒めてよ、好きとか言っよ!



ば、バカ!  
帯引っ張ったら!

え?

え?

もういい、私  
先帰る!

アッアスカ!  
ちよつと待って!

きやう



タイミグ悪かったのよ。  
アスカ・・・すっごい気合  
入れてたから・・・



なあ委員長、あの  
二人追わんでええのか?

ん、シンジ君に  
まかせろしかな  
いんじや



私は・・・  
わかるけどなあ。

へ？



しかし、つもらへん  
ことでイジげよるなあ。



あゝ・・・。

いきなり・・・やな。

・・・イケてるん  
やないか、委員長。

ほ、本当？

ほ、ほんや  
やって・・・。



私も鈴原にどう見えるか・・・  
気になってるんだけど？



ちよっ、ちよっとなんのマネよ……

ごめん、でもちゃんと話聞いて欲しくて……

な、なによ！い、今更あ……

アスカのことどう思ってるかと……

アスカ……

なによ……あんなに憎らしかつたのに……

ゴメン、でもこれから毎日だって言うよ！だから機嫌なおして、アスカ。

アスカのこと好きだし、綺麗って思ったりするの僕にとつてあたりまえだから

そんなの……言ってくれなきゃわかんないじゃない……！

もうこんな気分になっちゃうなんて……

ズルイわよ……バカシンジ……





もっとアンタのことが好きになってあげるから。

そしたら私も……

アスカ、浴衣は……

アンタが乱暴に押し倒したから、ちよっと手貸しなさいよ。



じゃ、仲直りしてあげるから、たまにはシンジから好きとか言ってみてよ。

アスカあ……



へ？な、仲直りについて……アンタなんでズボン脱……



そのまえにアスカ、仲直りに……さ

ドキ

ドキ



アアアア!!



ってヤダ、ちよっと元に戻らない？シンジ手貸いなさいよ！



キーン



あり……がとう……。  
でも**買**いすぎ。



ねえ、  
フアースト。



これもおいしいそうだから  
買ってきたよ。



フアーストは  
碓君がいないから  
楽しくない？



お祭りっていいね。  
おいしいものや楽しい  
ものがたくさんあって。

楽しそうね。

うん、  
楽しいよ！

別に……。

大丈夫、2号機の  
人と一緒なら。

あ、ファーストは  
碓君のこと……。

私と碓君は……  
多分そういうのじゃ  
ないから……。

碓君、セカンド追  
かけて行っちゃたい  
けど、心配？

なんでもないわ……  
今……楽しいわ……。

それに……。

?

よかつた！じや、  
次はあれ食べて  
みようつか？

……食べすぎ……

ちよっと、シンジ  
本当にここで……  
するの？

大丈夫だよ、ここもう  
だいぶ奥のほうだし。

こんなところ、  
誰かに見られたら  
大変よ……。

それにさ、こういうお祭り  
の時に大好きなアスカと  
するって、素敵かなって。

もう……調子が  
いいんだから……。

ドキ

私も・・・なんか  
したくなっちゃった  
かも・・・。

アスカ・・・

それじゃ、  
と・く・べ・つに。

ドキ

ドキ

ここでHさせて  
あ・げ・る♡

バカシンジに

ドッ

ポ

アスカよ、

んひやあ！

んお！？

ああシンジい、  
そ、そんなところ  
何して・・・？

すごい・・・アスカの  
お尻の中もピンクで  
綺麗だよ・・・

ふ、深すぎるう！

あは、アスカ、  
挿入でイっちゃたね？

そ、そこはあ？

アスカ、ここいじられると  
すごくかわいく感じて  
くれるんだよね。

ああ、うそお、シンジに  
見られてる、お尻の穴に  
広げられて私の中見られ  
てるう！

ダメよお、こんなお尻  
とアソコいっぺんに  
犯されたら、わ、私い。

!?

シ、シンジ、ちよっと  
まって、止めてえ!

ダメ、ダメえ!  
が、我慢できない!

ア、アスカ?

あくあ、アスカ、  
お漏らししちゃった。

ビュ  
ン

ああ、うそお、止まんない、  
シンジとしながらオシッコ  
止まんないのお!

いいよ、アスカ、  
僕にもっといやらしい  
アスカを魅せて!

バカあ、こんな死ぬほど  
恥ずかしいのにい!

あくもう、信じ  
られない・・・！

この私が・・・外でSEXして、  
そのうえアンタの前であんな  
無様な姿見せるなんて！

あんなの誰かに  
知られたらどうして  
くれんのよ！NREV  
にもいらんないわよ！

あんな  
ん

そんなことになったら・・・  
僕が責任とるよ！

フグ♡

フグ♡

もう、そんなこと  
いいながら、またシンジ  
のおつきくしちやって！

あんな  
い♡

うああ、アスカ、  
これすこすぎるよお！

ふん？一生？

も、もちろん！







アスカ……  
僕は



シンジ、私戻って、  
えこひいきにも  
あやまんなきやね。

アスカ……

もう私、  
大丈夫だから。



でもキレイ〜!

うん……



え？ちよつ、花火って  
まだ先じゃ……って  
私達どんだけしてたのよ!

さ、さあ？

いやだ、皆ほったらかして  
もう、バカシンジの  
スケベにつきあったからよ!

いやでもアスカ  
もノリノリで感じてた

うん……!



あ、あの、  
ちやんと気持ちを  
さ。

シ、シンジ...?



—てるから。

ね、アスカ。  
なによ?

ばか・  
ズルイわよ。なんて



えくとお...

ほらあ、早くう、  
言つてよおシンジ。

えつと...  
あのですね...

ほら、もつかいよ!  
言つてみなさいよ!



ケダモノ屋さん